






20歳がスタート 知っておきたい国民年金

●お問い合わせ／市国保年金課国民年金係 ☎26-5728、各総合支所地域振興課、鶴岡年金事務所 ☎0235-23-5040

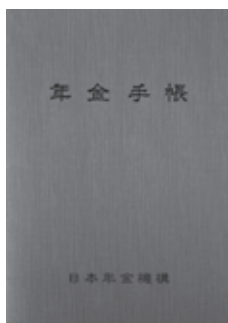
20歳になったら国民年金加入の手続きをお忘れなく

日本に住む20歳以上60歳未満の全ての方は、国民年金への加入が義務付けられています。加入者を被保険者と呼び、次の3つの区分に分かれます。

第1号被保険者	第2号被保険者	第3号被保険者
		
自営業、学生、無職の方など	会社員、公務員など	会社員などに扶養される配偶者

20歳になったときに、上図の第1号被保険者に該当する方には国民年金資格取得届書が届きますので、必要事項を記入し、同封の封筒で日本年金機構へ返送してください。手続き終了後、年金手帳が郵送されます。年金手帳は、国民年金保険料(以下「保険料」)の納付確認や、将来年金を受給する際に必要ですので、大切に保管してください。

就職、退職、結婚などで国民年金の加入区分が変わった場合、その都度届け出が必要です。



国民年金の給付は3種類

国民年金には、3つの基礎年金給付があります。

老齢基礎年金／原則として65歳から受給できます。ただし60歳からの減額繰り上げ受給や70歳までの増額繰り下げ受給の制度があります

障害基礎年金／国民年金加入中のけがや病気で障害等級1級・2級の障がいが残ったときに受給できます(身体障害者手帳の等級とは異なります)

遺族基礎年金／国民年金加入者が亡くなったとき、その人に生計を維持されていた子のいる配偶者、または子が受給できます(子の年齢が18歳に達する年度末まで)

保険料と納め方

国民年金資格取得届書を返送すると、保険料の納付書が届きます。20歳から60歳までの40年間保険料を納めることで、満額の年金を受給できます。

第1号被保険者の平成27年度保険料は、月額15,590円です。

納付書(現金)／各金融機関またはコンビニエンスストアの窓口で納付

口座振替／各金融機関または鶴岡年金事務所で行う手続き
クレジットカード納付／鶴岡年金事務所で行う手続き(郵送も可)

●便利でお得な割引制度

保険料を2年分、1年分または半年分をまとめて納めると、割引になる前納制度があります。また口座振替では、翌月末引き落としを当月末引き落としにすることで割引になる早割制度もあります。

保険料の納付が困難なときには

保険料を未納のままにしておくと、老齢基礎年金だけでなく、障害基礎年金や遺族基礎年金も受給できない場合があります。

保険料を納めることが経済的に困難な場合には、納付を免除または猶予される制度があります。また学生の方には学生納付特例制度があります。

◆申請には受付期限がありますので、早めに相談してください。

年金を受給するためには

老齢基礎年金を受給するためには、保険料を納めた期間(第2号・第3号被保険者期間を含む)と免除期間などを合わせて25年以上必要です。

◆保険料の未納期間があると、厚生年金加入中のけがなどで障害厚生年金を申請しても受給できない場合があります。離職や扶養を外れたなどの短い期間でも、国民年金の加入手続きをきちんとして保険料の未納や免除手続き漏れのないように気を付けましょう。



これで私も大人の仲間入り?

Pick Up 市政ピックアップ

第59回酒田市民芸術祭

酒田市民短歌大会・酒田市民俳句大会 秀作作品

短歌

◆ 入選歌

並び立つ櫛大樹の走り根を礎に重ねつつ
倉庫動がず 佐藤 幹夫

坂道を登り真向かふ夕影の強き緋色に絵
身射らるる 大橋 敏子

出穂の田毎に緑の濃淡あり自己主張する
児童らのごと 小松ノリ子

金色に縁取られたる黒き雲月の所在をも
のがたりるる 佐々木美美子

瀧花火消えて暗さにかへりゆく川面を渡
る青葦の風 鈴木志津子

記念日と暦も記す6、9、15、深く顕た
しめ八月ゆけり 横山 和子

抱き寄せて小春日温き縁側に会話弾ませ
母の爪切る 高橋 喜美

「^{かまきり}蟬が脱皮したよ」と大き目で虫籠見
せる六歳の夏 松田たつ子

今は亡き貴女に似合いし紫のトルコ桔梗
を新盆に供う 榎本久美子

小さき旅終へて降り立つわが酒田迎への
風に帽子煽らるる 三浦 弥生

俳句

◆ 兼題の部

来たと告げ来たかと聞ゆ墓まいり
佐々木良子

児の手品仕掛け丸見え敬老日 鎌戸登志子
お月さま僕を好きだといつてくる 鈴木 陽子

翹雲涙出るほど笑ひたし 柴田 和子

単線の線路のさびや草の花 白畑 広子

生き下手の老いの二人の良夜かな 石垣 専一

移り香に染まる指先菊を摘む 菅原智恵子

南瓜割る力を秘むる厨妻 斎藤 芳男

余生とはかくも淋しき秋の蝉 渋谷 昭治

それぞれの家路に向かふ良夜かな 佐藤ひとみ

秋高し錨下ろせし異国船 戸田 すみ

うろこ雲風に結界なかりけり 相馬 勝子

孫帰り老いの二人の良夜かな 進藤 郁子

青畝の碑慕ふ百合子忌菊香る 渡部 秀

秋入り日そびらに山戸能の舞 阿部八重子

◆ 席題の部(萩 葡萄酒 夜寒)

港には港の音色夜寒の灯 鈴木 幸子

葡萄酒狩高きはパパの肩車 白旗いちこ

道元の教へ刻みて萩の寺 村上 礼

太郎冠者の小袖の格子萩の庭 畠中 英子

周平が生家跡なりこぼれ萩 富樫 國雄

万歩計ふみ出す一步夜寒し 武長世以子

夜寒し傷みし本の指の痕 したらきようこ

老いの掌に匂ひを貰ふ葡萄酒房 佐藤 喜久

跡絶えたる奥の細道乱れ萩 工藤千江子

白萩を見事と言ひて僧来たる 小松 恵子

無住寺や山門左右古き萩 堀 健悦

ほおき目に萩のこぼれて寺しづか 相馬 タカ

休憩は紅萩揺るるところにて 青葉 信子

松山能果つて喝采こぼれ萩 黒坂サダ子

山萩の愛でる者無く咲きこぼれ 須階 米子